

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

発症早期 ONFH の診断補助としての T2 マッピングの有用性と最適撮像条件の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

本研究の対象は、2025 年 8 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの期間に昭和医科大学病院において、大腿骨頭壊死症が疑われた、または診断されたうえで、股関節の MRI 検査にて T2 マッピング撮像を受けた患者さんです。

2. 研究目的・方法

大腿骨頭壊死症（osteonecrosis of the femoral head : ONFH）は、進行すると骨頭が圧潰し、変形性股関節症へと進展することが知られています。そのため、圧潰に至る前の段階で病変を的確に捉え、早期に診断を行うことが重要です。

しかし、骨頭圧潰前の病期では、X 線画像で明らかな異常がみられないことが多く、通常の MRI 検査（T1 強調画像など）でも病変の描出が困難なことがあるため、診断が難しいという課題があります。

本研究では、発症早期の ONFH 患者さんを対象に、T2 マッピングという MRI の定量的評価法を用いることで、早期病変の検出に有用な撮像条件を明らかにすることを目的としています。

2025 年 8 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの間に当院で股関節 MRI 検査（T2 マッピングを含む）を実施した、ONFH が疑われた患者さんまたは ONFH と診断された患者さんの画像データを用いて、T2 マッピング画像の定量解析を行います。

具体的には、当院で検査を受けられた患者さんの診療記録や MRI 画像（2025 年 8 月 1 日～2026 年 12 月 31 日に撮影されたもの）をもとに、T2 マッピング画像の解析を行います T2 値の比較や画像所見の検討を通じて、発症早期 ONFH の診断に有用な T2 マッピングの撮像条件を検討します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 12 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、対象となる患者さんの診療記録から以下の情報を使用します。

- ・年齢、性別、身長、体重の基本情報
- ・診断名や診断時の臨床情報

- ・ 股関節 MRI 検査の画像データ
- ・ T2 マッピングに関する定量評価結果

これらの情報は、すべて匿名化を行ったうえで解析を行い、個人を特定できる情報が外部に漏れることはありません。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学 保健医療学部・大学院保健医療学研究科
昭和医科大学病院 放射線技術部 本寺 哲一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 放射線技術部

氏名：本寺 哲一

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-6426-3269